

(仮称) 松原児童センター建設及びテニスコート整備工事基本・実施設計
業務委託プロポーザル審査結果報告書

平成30年9月28日

1. 選定委員会の概要

(仮称) 松原児童センター建設等工事基本・実施設計業務に係る設計者選定委員会は、(仮称) 松原児童センター建設及びテニスコート整備工事基本・実施設計業務委託プロポーザルに当たり、参加業者資格要件、選定基準の検討・決定、技術提案書の審査、受託候補者の選定を公平かつ厳正に行いました。

2. 選定委員会及びプロポーザルの経過

平成30年6月 7日 第1回選定委員会

平成30年6月15日 公告、実施要領等の公表

平成30年6月26日 質問書の提出期限

平成30年7月 3日 質問書に対する回答

平成30年7月11日 参加表明書の提出期限

平成30年7月20日 技術提案書の提出期限

平成30年7月28日から29日まで 第一次審査（技術提案書）の公開展示会
草加市文化会館

平成30年7月31日 第2回選定委員会（第一次審査）【公開】
アコスホール

平成30年8月25日から9月8日まで 第二次審査（技術提案書）の公開展示会
草加市立中央図書館

平成30年9月 8日 第3回選定委員会（第二次審査）【公開】
草加市立中央図書館

3. 選定委員会委員

役職	氏名	職名
委員長	古谷誠章	早稲田大学創造理工学部教授
委員	木下庸子	工学院大学建築学部建築デザイン学科教授
委員	新藤こずえ	立正大学社会福祉学部准教授
委員	戸田芳樹	京都造形芸術大学非常勤講師

4. 審査結果

最優秀者 株式会社御手洗龍建築設計事務所

次点者 一級建築士事務所Eureka

5. 審査講評

(1) 第一次審査

① 第一次選定

ア 提案のあった27者のうち、各委員が10者を選び、評価（点数付け）を行った。

イ アの10者のうちから、各委員がさらに7者を選んだ（評価結果は、別添1のとおり。1名以上の委員から選定された設計者は14者）。委員が選んだ7者について、各委員から選定した理由の説明をした。

② 第二次選定

選定委員会が公開のもとで審議し、第一次選定の14者のうちから、票数、評価点の高かった6者を、第二次審査を行う対象として決定した。

(2) 第二次審査

第一次審査で選定した6者について、プレゼンテーション及びヒアリングを実施した。その後、選定委員会が公開のもとで審議し、議論と投票を経て総合的に判断した。（投票結果は別添2のとおり）

最優秀者の株式会社御手洗龍建築設計事務所の提案は、建築で子どもの創造性を育む空間として、基本計画をベースにしながらも確定的でない部分は独自に熟考し、さらにその範囲を超えて新しい価値を付加した提案として高く評価された。

子どもの豊かな成長を育む空間や仕組みについて、ポールト状の屋根に特長のある外観に魅力があり、子どもにとって驚き・憧れ・どきどき・わくわく感のある施設になるという期待と、10年20年先を見通した建築計画としても優れており、ここで育つ子どもの心象風景にいつまでも残る建築と評価された。小学校や幼稚園からのアプローチが具体的に描かれており、緑の自然へつながる導線が評価された。

緑の丘を中心とする豊かな外部空間については、自然を3つの種類の異なるみどりとしていることが、他の案にない良さであり、今後計画を進めるうえで非常に可能性を感じさせるものと評価された。

ライフサイクルコストについて、具体的にコスト削減について検討されていることが評価された。構造上の削減方法も検討されている他、空調設備についても個別空調にすることで合理化を図っている。

また、第一次審査後に審査委員から提示した追加指示や細かい懸念事項に対して、ひとつひとつ丁寧に応えようとした真摯な姿勢が高く評価された。

次点者の一級建築士事務所Eurekaは、施設での子どもと大人の間係を十分配慮し設計されており、建物内部に起伏をつくり楽しさを見出そうとすることなどが高く評価された。

子どもの豊かな成長を育む空間や仕組みについて子どもの気持ちに寄り添い、職員が子どもを監視するのではなく、子どもから職員が見えるような高低さや配置に工夫があり、子どもへの深い理解があったことが評価された。

音楽のためのホールと運動のためのアリーナについては、異なる用途に対して考えられていること、浸水対策を考慮し地下へ沈めない選択をしたことが高く評価された。しかし、スケール感にやや齟齬があり、もっと丘やその他の部分の造形になじむものができるのではないかと、やや疑問が残った。

みどりの丘を中心とした外部空間については、内部の建築空間がそのままランドスケープにつながっており、快適な内外を一体化できることが実現できると評価された。

プロポーザルの趣旨を深く理解し、基本計画に準拠した上で豊かな空間を実現するために、緻密な検討の上で提案したことも評価された。

株式会社御手洗龍建築設計事務所と一級建築士事務所Eurekaは、対照的な全く異なるタイプの提案であった。双方とも平均的に高評価を得たが、最終的には投票により審査員全員が最優秀と判断した株式会社御手洗龍建築設計事務所が、より高く評価された。

最後に、本プロポーザルに参加された提案者の皆様、選定委員会委員の皆様、貴重な時間を費やしていただいたことを心より感謝を申し上げます。

平成30年9月28日

(仮称) 松原児童センター建設等工事基本・実施設計業務に係る設計者選定委員会
委員長 古谷 誠 章

別添1

(仮称)松原児童センター建設及びテニスコート整備工事基本・実施設計業務委託プロポーザル第一次審査委員会 評価表

No.	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
古谷委員長			94	92			(60)		(50)	68				71			85							辞退	(65)			88	89		
木下委員			85	68	(61)	(58)	69			(53)	83					79															83
新藤委員		80		68	(64)		75		(68)				(62)	83												77					83
戸田委員			88	80	(61)		81		(65)					74		(67)	70														

数字のみは、委員が選定した上位7作品、カッコ付の数字は8～10位。ただし、第7位の作品が同点の場合は、定量点を除いた委員素点の高い作品を選定。

別添2

(仮称)松原児童センター建設及びテニスコート整備工事基本・実施設計業務委託プロポーザル第二次審査 評価表

	1	2	3	4	5	6
受付番号・設計者	03 鈴木理考+木内俊克 +中村航 設計共同体	14 ihrmk・清正・田中建築設計共同体	07 合同会社ピークスタ ジオ一級建築士事務所	20 株式会社カワグチテ イ建築計画	04 株式会社御手洗龍 建築設計事務所	29 一級建築士事務所 Eureka
古谷委員長					◎	○
木下委員					◎	○
新藤委員					◎	○
戸田委員	○				◎	
点数					93	84
					最優秀者	次点者

委員が選定した最も評価が高い設計者は◎、次に評価が高い設計者は○。
点数は、◎、○を入れた委員の点数の平均点。(最優秀者及び次点者のみ)